

2021年11月29日(月)オンライン開催

ローコード・ノーコード Summit 2021

～内製力の強化がDXを成功に導く～

協賛のご案内 ver.2

日経 **XTECH**

開催趣旨

いまだ続く新型コロナウイルスの感染拡大により、ビジネスを取り巻く環境は大きく変化しています。激変の時代にも企業は競争力を維持しなければなりません。そのためには、システム開発をビジネス戦略の中核に位置づけ、従来の働き方やビジネスモデルを変革するアプリケーションを開発し、デジタルで企業を変革する「DX」の推進が不可欠です。

従来のような1～2年先を見据えたシステム開発で対応は十分とは言えません。ニーズに応えながら、スピード感をもって現場に提供することが競争力強化、ひいては会社の存続に大きな意味を持ちます。そこで注目を浴びているのが、人手に頼っていたコーディングを減らす、あるいはゼロにして効率化する「ローコード開発」や「ノーコード開発」です。

IT技術者に加えて、業務部門のスタッフもシステムを開発できるようになるだけでなく、人手に頼ってきたコーディングを自動化できることでむしろ品質が高まり、テストも効率化できるという副次的な効果もあります。また、システム開発の内製化が進むことで、現場が求める仕様・要件の変更へ迅速に対応できることも大きなメリットであり、「DX」を成功に導くカギになります。今までの開発にはなかったこれらのメリットを得ようと導入が進み、それに呼応する形で次々と新しいツール/手法が登場しています。

このような背景のもと、日経クロステックでは『ローコード・ノーコード Summit 2021』を開催します。本セミナーは、成果を上げている企業の事例を紹介するだけでなく、それを可能にしたツール/手法も解説し、ローコードやノーコードの導入を具体的に支援します。

貴社製品・サービスの訴求に格好の機会になると確信しております。ぜひこの機会にご協賛をご検討下さいますようお願い申し上げます。

開催概要

名 称	ローコード・ノーコード Summit 2021
主 催	日経クロステック
協 力	日経コンピュータ
日 時	2021年11月29日(月)10:00～16:30(予定)
形 式	オンラインセミナー(Live配信)※配信場所は都内スタジオを予定
受講者数	350名(想定)
受 講	無料(事前登録制)
対 象	ユーザー企業(経営層、IT部門、デジタル推進部門、研究・開発部門、企画マーケティング部門)、SIer など
告 知	日経BPが保有するビジネス、ICT関連媒体の読者・会員を中心に告知し集客します

プログラム(予定)

時間	内容
10:00～10:30	基調講演
10:35～11:05	ソリューション講演①
11:10～11:40	ソリューション講演②
13:00～13:30	特別講演①
13:35～14:05	ソリューション講演③
14:10～14:40	ソリューション講演④
14:45～15:15	ソリューション講演⑤
15:20～15:50	ソリューション講演⑥
16:00～16:30	特別講演②

※上記のプログラムの内容や時間/構成は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

ご協賛メニュー

ご協賛料金：280万円 (税別)

- ご講演枠(30分/1枠、350名程度の視聴を想定)
 - 全受講登録者リストのご提供(想定提供数:700件)
 - 以下の媒体にご講演レビューを掲載
 - ・日経コンピュータ 2022年1月発売号(予定)、4色2ページ
 - ・日経クロステック Special 2022年1月中旬から4週間
 - 上記レビュー掲載終了後に貴社放映素材をご提供(二次利用可)
 - 配信サイト上での貴社ロゴ掲出
 - 貴社講演資料等のダウンロード(任意、1点まで)
 - 個別アンケートの実施(任意)
- * 運営ルールに基づく形にて(別途事務局よりご案内)

開催実績

名称	ローコード・ノーコード/超高速開発 セミナー 2021
日時	2021年6月4日(金) 10:00~16:30 【オンラインセミナー(LIVE配信)】
主催/ 協力	日経クロステック/日経コンピュータ
協賛	アステリア、アスタリスク・リサーチ、サイボウズ、エイチシーエル・ジャパン、 インテリジェント・モデル、ServiceNow Japan (ABC順)
受講料	無料(事前登録制)
受講者	618名(事前登録者:900名)

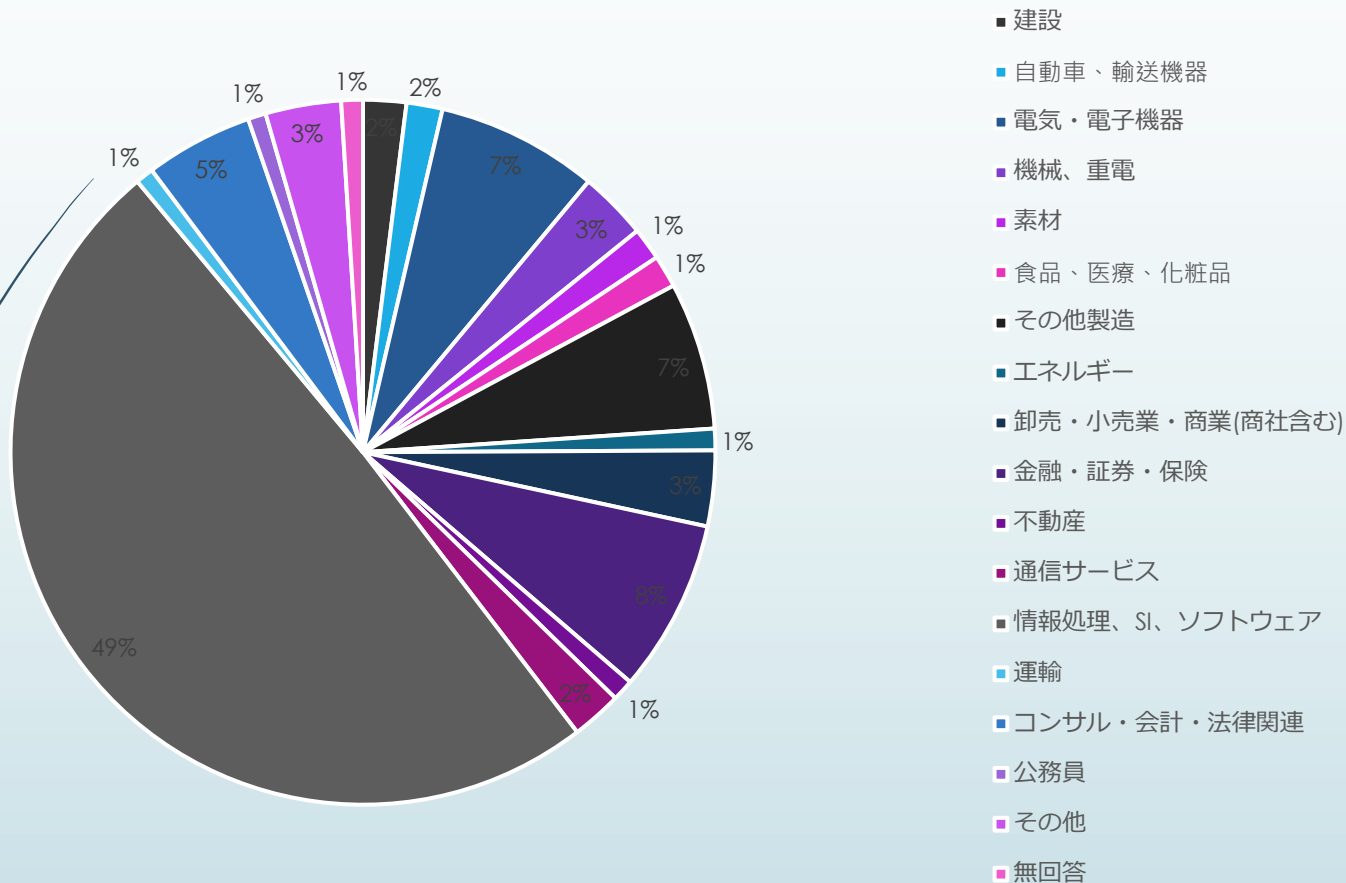
基調講演	三菱UFJ銀行におけるローコード/ノーコードソリューション導入価値最大化への挑戦 三菱UFJインフォメーションテクノロジーデジタルエンジニアリング部 シニアプロフェッショナル 舩方 想 氏
------	--

特別講演	ローコードによる期末決算報告業務の刷新事例~ロボット任せにしない業務改善の取り組み~ 積水化学工業デジタル変革推進部 情報システムグループ (担当係長) 森脇 崇太郎 氏
------	---

特別講演	ローコード・ノーコード・超高速開発~開発新潮流の意味~日経BP 日経BP 技術メディアユニット編集委員 中村 建助
------	---

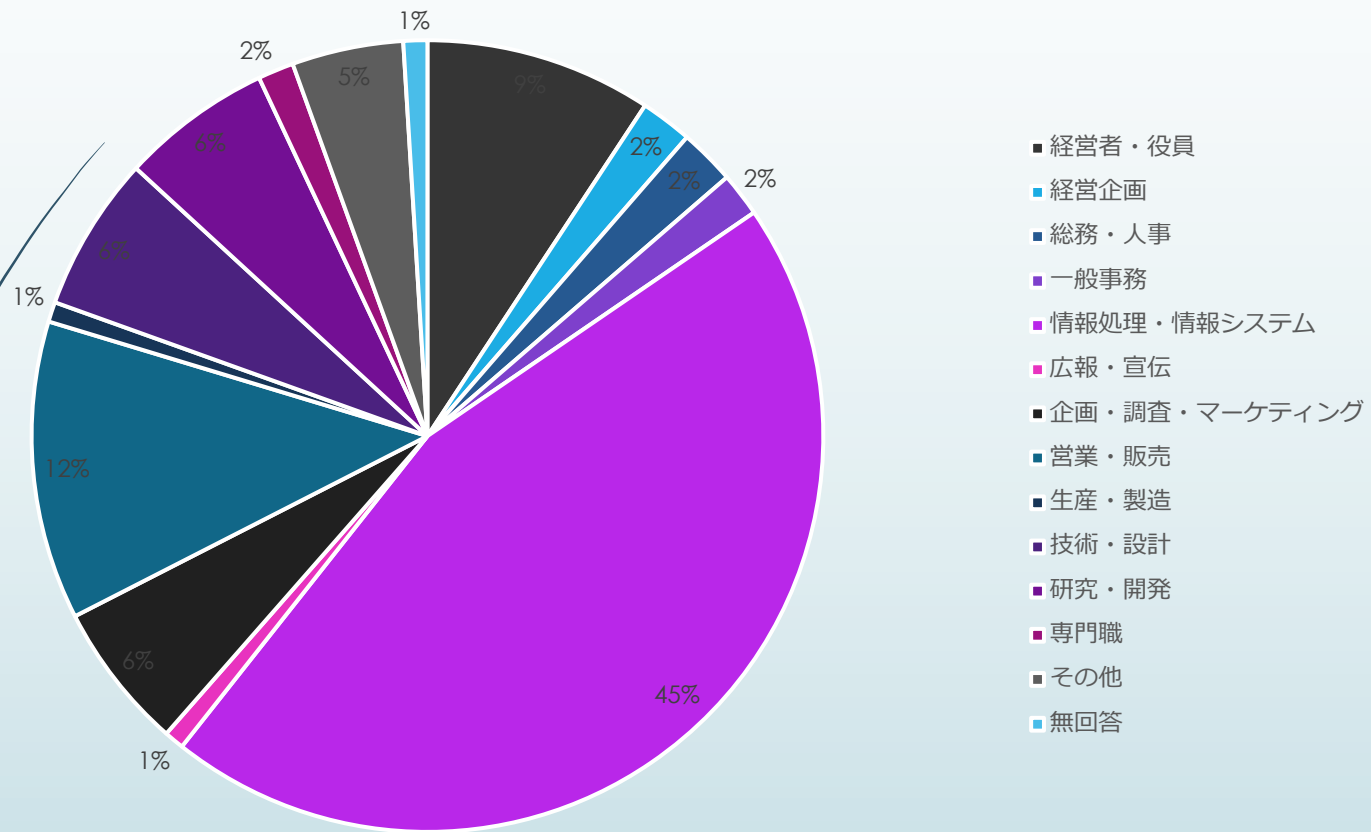
開催実績 【出席者属性/業種】

情報処理・SI・ソフトウェアが約半数



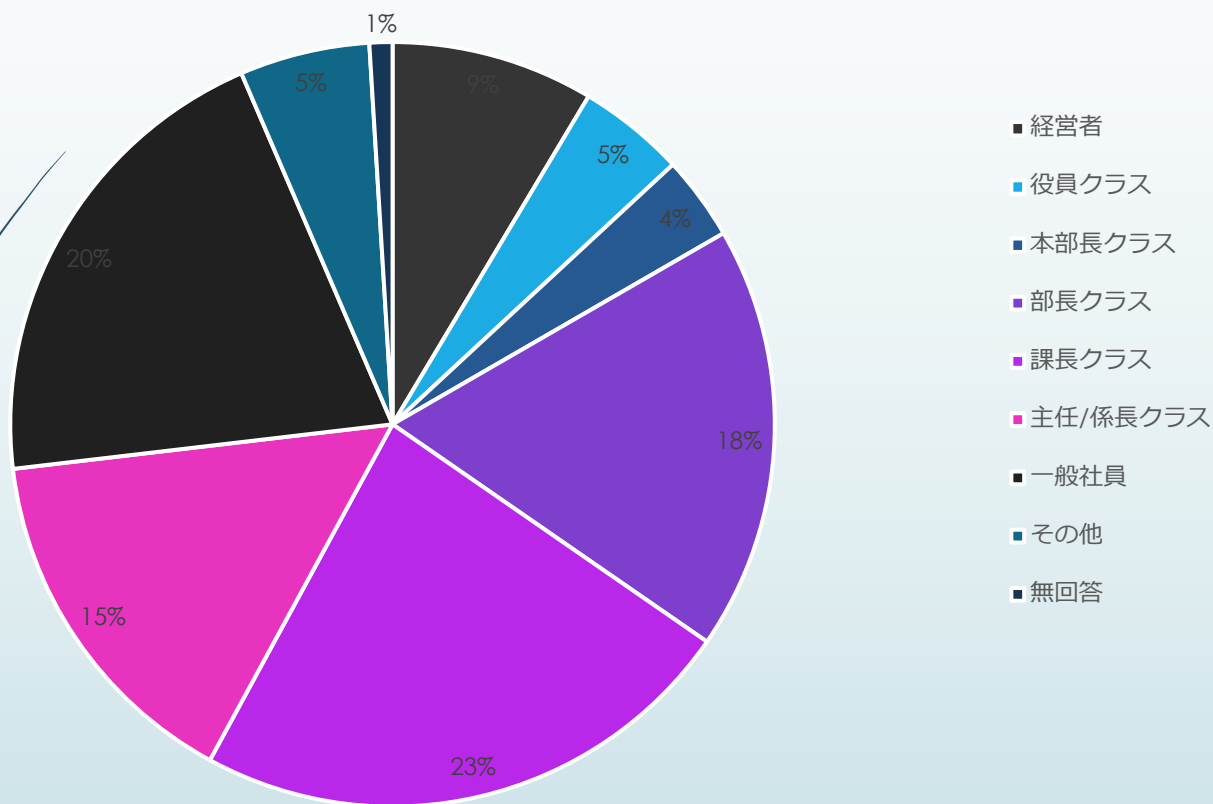
開催実績 【出席者属性/職種】

情報処理・情報システムが約半数
次いで営業・販売部門が多く聴講



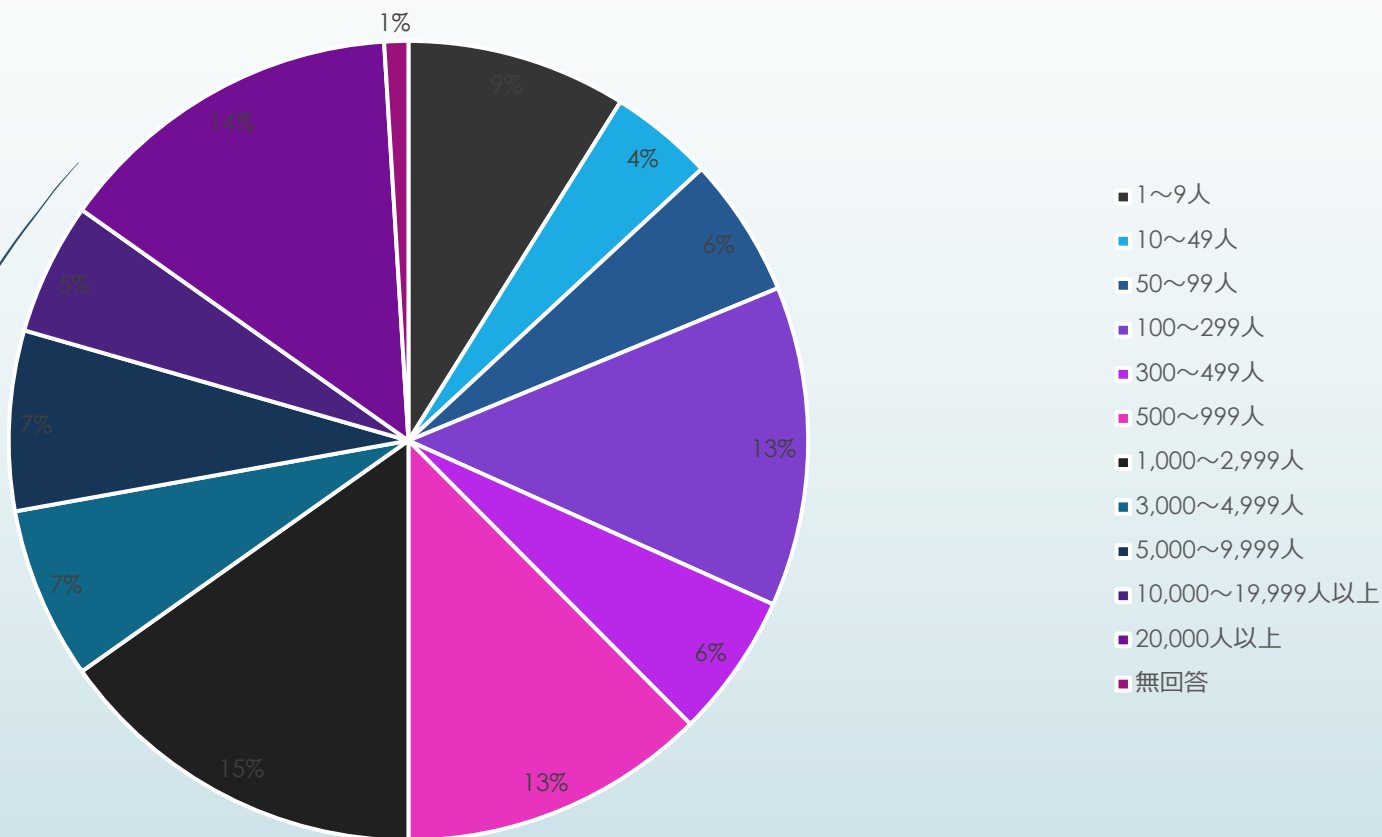
開催実績 【出席者属性/役職】

約6割が課長クラス以上



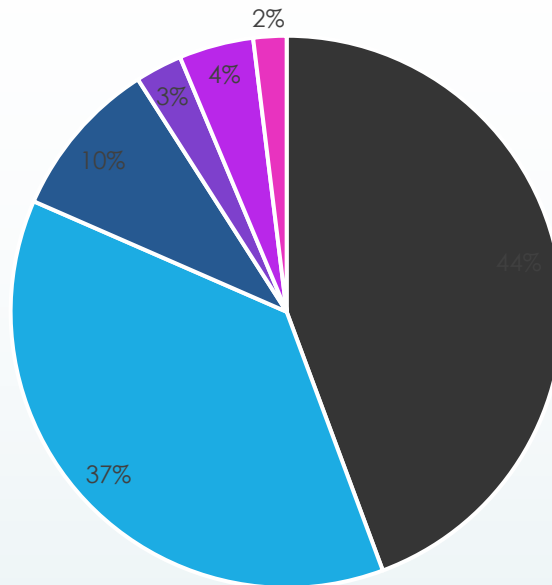
開催実績 【出席者属性/勤務先従業員数】

約半数が1,000名以上の大企業に勤務



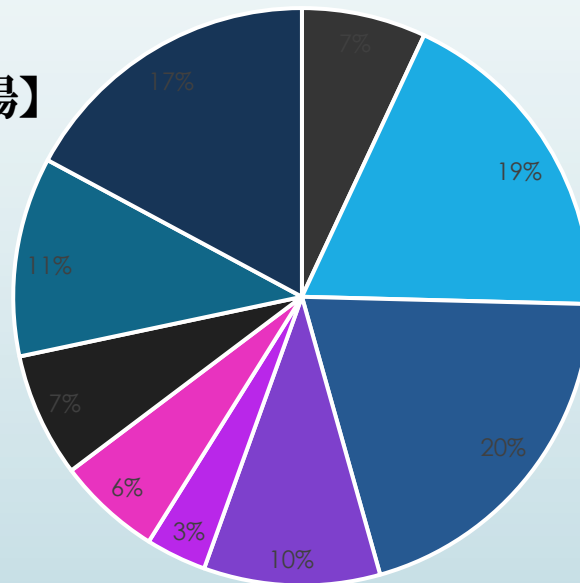
開催実績 【出席者属性/立場】

【ITに関する立場】



- ユーザー
- SI、コンサルティング
- IT関連ハード/ソフトのメーカー/ベンダー
- 通信サービス提供者
- その他の立場
- 未回答

【システム開発に関わる立場】



- ビジネスプラン、開発プロジェクトを承認する
- ビジネスプラン/事業を企画、推進する
- システム開発プロジェクトを企画、推進する
- システム開発に必要な製品・サービスを選定する
- プログラムを記述する
- システムの運用、品質管理をする
- システム開発のコンサルティングをする
- チーム/組織のマネジメントや運営をする
- その他

個人情報取り扱いに関するルール

日経BPでは顧客情報の提供にあたり、以下の内容を遵守していただくことを前提といたします。是非、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

1.顧客情報の範囲

提供する顧客情報は、「氏名」「勤務先会社名」「勤務先部署名・役職名」「勤務先郵便番号」「勤務先(または自宅)住所」「勤務先(または自宅)電話番号」「勤務先(または自宅)FAX番号」「電子メールアドレス」「業種など」の登録された情報のなかで貴社が希望する項目とします。「業種など」はイベント単位で異なる場合がありますので、事前に担当者までお問い合わせください。

2.顧客情報の提供方法

顧客情報は「日経BPリードジェン支援システム」を使用してご提供いたします。データの取得方法などは貴社ご担当者様宛に弊社からメールでご案内いたします。

問い合わせ先:日経BPリード・サポートセンター(E-mail:lgsc02@nikkeibp.co.jp)

3.顧客情報の利用目的

提供した顧客情報は、その元となった貴社主催または協賛セミナーの内容に関連した、貴社製品／サービスのご案内に限定してご利用ください。

4.顧客情報の利用方法

提供した顧客情報を元に、最初に顧客に連絡を取る際には、「提供した顧客情報の元となった貴社主催または協賛のイベント名」

「貴社名」「貴社の連絡先」「顧客情報の変更・削除および情報提供停止の方法」を必ず明示してください。

5.提供した顧客情報の管理責任について

提供した顧客情報は「個人情報の保護に関する法律」などに基づいて貴社の責任において管理・運用願います。

万が一、事故などで顧客または貴社に損害が生じた場合、弊社では一切の責任を負いかねます。

スケジュール・お問合せ

10月中旬	ご協賛申込み締切
10月中旬～下旬	プログラム決定、告知サイトオープン
11月29日(月)	セミナー開催
12月初旬～中旬	受講登録者リストご提供・開催報告書ご提出
2022年1月中旬	講演レビュー掲載

※ご協賛枠が埋まり次第、申込締め切りとさせていただきます。

※スケジュールは変更になる可能性があります。予めご了承ください。

■お問い合わせ先
日経BP 技術メディア広告部
TEL:03-6811-8025
Mail:c-ad@nikkeibp.co.jp